

沖縄市地域包括支援センター 西部南 開所

センター長 森田ひとみ

沖縄市には7か所の地域包括支援センターが設置されています。この度、タピックが担当する西部南（諸見里・久保田・山内・山里・南桃原）が2021年4月1日に開所致しました。当センターでは、介護に関することはもちろん、健康や福祉、医療や生活、認知症などに関する相談を受け、高齢者の総合相談や介護保険サービスの調整、地域の困りごとの調査、地域の集まり処を立ち上げるお手伝いなどを行います。理事長の掲げる『健康と生きがいのある元気なまちづくり』を目指して、10年後20年後も支援が継続できるよう、地域とつながり、質の高い支援を進めて参ります。



タピック総合リハビリテーション医療センター 理事長 宮里好一

いよいよワクチン接種が始まり、コロナ感染症をめぐる状況が正念場を迎えています。コロナの収束はいつか、オリンピックは開催されるのか、経済状況はどうか。これから3か月は全く予測不能な様相です。こういう中でも、タピックは動きを止めず懸命に新しいことに挑み、粛々と予定されたプログラムを実行し続けています。

沖縄リハビリテーションセンター病院は今年の2月1日から、211床の増床を行いました。410床の病棟と隣の亀の里の入所定員80床を合わせると490床の世界最大級の総合リハビリテーション医療センターが実現しました。



これまでの回復期リハビリテーション病棟と高齢者の介護リハビリテーションに、精神科病棟が加わりました。全ての障害への対応に差別がない医療のあり方を実現する基盤ができたのです。

身体障害、知的障害、精神障害はそれぞれ大切であり、またどの障害にも総合的な視点と対応が必要であると思います。発達障害や高次脳機能障害もクローズアップされています。

この総合リハビリテーション医療センターの意義は、一つ目に、こころと体の両面にわたる統合リハビリテーションの提供です。高齢の精神障害者への個別リハビリテーションがすでに実施されてきています。

二つ目は、現在の日本、沖縄の医療の中でまだ充実していない分野への挑戦です。アルコールはもちろんゲームや薬物、あるいは食事依存という側面のある病的肥満など多方面の依存へ取り組みます。また認知症や子供の発達障害にたいしては、精神科医だけでなくリハビリテーション科医や神経内科医、小児精神科医などの多科医師チームと看護・介護、作業療法士をはじめとしたリハビリテーション専門職、心理士、ソーシャルワーカーなどと地域連携システムの総合体制（地域包括ケアシステム）で対応できるようにしたいと考えています。

三つ目は地域に開かれた医療、地域住民が主人公である医療のイノベーションに向けた拠点になりたいということです。地域の健康指標を地域のみなさんと共に決めて、その改善のためのプランを実行し、超高齢化人口減少の中でも持続する新しい地域モデルの創出に取り組みます。

四つ目は、新しい時代にふさわしい人材育成のセンターを目指すことです。多職種・多施設協働医療、新しい医療人養成のための学習の推進です。そのためには、専門職種間の相互理解とそれぞれの専門技能の確立はもちろん、コミュニケーション能力、表現力、調整能力の数値化を図り総合的人間的能力向上に向かう教育研修体制を確立すべく努力します。

五つ目は、TAPiCグループ全体の共通の長期目標年を意識し、ビジョンの実現を目指す二本柱の一つの拠点になることです。

2040年に「健康と生きがいのある元気なまちづくり」の夢を叶えることを、グループ一丸となって、本気でめざすという決意です。2020年に策定したタピックの総合使命図の6輪（医療、観光、自然、文化、スポーツ、教育）の分野間のシナジー、新しい総合ウェルネス産業を生み出し社会課題解決に貢献する事業グループとして邁進します。



精神科部門ってこんな所 作業療法士 名嘉真卓

2021年2月よりイーストタピックに精神科部門が加わりました!!

☆入院ホール部門:

- 本館5階なかゆくいホール (55床) : 急性期を過ぎ、状態が安定した療養者の生活リズムの改善を図り、作業療法、薬物療法、日常生活訓練等を通して早期社会復帰を目指します。
- 本館6階ちむがんじゅホール (48床) : 現在は長期入院されている方が多い急性期・慢性期の混合病棟です。今後は急性期治療に重点をおいていく予定です。
- 本館7階ゆいまーるホール (53床) : 現在は精神療養病棟です。4月より認知症の専門医が赴任し、今後は認知症治療病棟への移行に向けて準備を進めています。

○精神科作業療法: 各病棟に作業療法室を設け、各担当作業療法士が各ホールや個人の特徴に合わせて、集団や個人での活動を通し「心と体」のリハビリテーションを展開します。

☆精神科デイケア: 地域でこころを病んでいる方や障がいを抱えている方が孤立せず、仲間や医療に支えられながら、生きづらさを共に乗り越え、豊かな暮らしを送れるよう支援します。

☆心理療法室: 公認心理師がカウンセリングや心理テストを実施。外来・入院、子どもからお年寄りまで幅広く対応しております。こころの不調を感じた際は、お気軽にご相談ください。

☆精神科外来: こころの病を持った方が安心して治療が継続できるよう関わっています。月曜日～金曜日まで診療があります。初めて受診希望される方は相談員にお気軽にお電話ください。

☆ねたて訪問看護室: 「精神科訪問看護」は、一人ひとりの『もっと元気に暮らしたい』という気持ちを大切に、その人らしい生活を目指し、定期的にご自宅へ訪問し、ご本人・ご家族と共にリカバリー（回復）と自己実現をサポートします。



入院ホール部門



精神科デイケア



ねたて訪問看護室

広報誌リニューアル 広報委員 和宇慶亮士

今回より、これまでの広報誌「タピックニュースあわせ」が『イーストタピックニュース』に生まれ変わりました(^_-)☆引き続きご愛読いただくと幸いです(^^♪

イーストタピックとは沖縄県の東部地域（主に沖縄市やうるま市）にありますタピックグループの医療・介護・福祉施設の総称です。当院をはじめ、介護老人保健施設やサービス付き高齢者向け住宅、デイサービス、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション等がございます。

